

農業振興普及課

五島市でスマート農業実証を行っています

農家の高齢化や後継者不在による労働力の不足が顕著となっている状況の中、スマート農業を取り入れ、水稻生産の効率化・省力化を図り、水稻の新たな営農体系の構築、水稻生産体制の維持を目的として、令和2年5月に五島市スマート農業推進協議会が設立されました。協議会の会員は、市内の生産者や農事組合法人、農協、市農林課、県農業振興普及課などで構成されています。

7月には、岐宿町のJAごとう西部支店にて、研修会及び実演会を開催しました。また、五島地域に適したスマート農業を検証するため、水管理システム、ラジコン草刈機、ドローンによる防除作業省力化等の実証を行っています。



7月の研修会及び実演会の様子（JAごとう西部支店）

「JAファームごとう農作業支援隊」本格始動

大規模農家の労働力不足解消や高齢者の農業経営の維持を目的として必要な農作業を請け負う「JAファームごとう農作業支援隊」の設立について、JAごとうと振興局で検討を重ねてきた結果、9月のブロッコリー、たかなの定植（写真）を皮切りに本格的に稼働しました。

発足時点では、地域でニーズが高い4作業を請け負うようにしており、それぞれ利用料金が設定されています（下表）。

なお、定植機、運搬トラックなど必要な機材は、「雇用機会拡充支援事業」を活用して導入されたものです。

今後は、利用者ニーズに対応するため、かんしょの収穫など支援作業の拡充を検討するとともに、株式会社エヌの特定技能外国人材を受け入れるなどして10名体制による支援を行う計画で、利用者を広く募ることになります。



たかな定植作業

支援作業と利用料金

対象作業	利用料金
ブロッコリー定植	5,000円/10a
ブロッコリー収穫	10円/玉
たかな定植	5,000円/10a
たかな収穫	20,000円/10a